

重要事項	5年間の主な取組み	令和8年度 主な取組み施策	※関連予算は2月定例会に提案中	指標(抜粋)
こどものライフステージに応じた支援	ライフステージを通じた支援 誕生前から幼児期まで 学童期・思春期	<p>多様な体験の機会づくり</p> <p>こども向け農林漁業体験の推進、商店街のこどもを主体とした取組みへの助成等</p> <p>グローバル人材育成の推進</p> <p>海外進学に向けた実習指導等を行う海外チャレンジ塾の実施、県立高校における国際バカロレア教育の導入推進、進学・留学に対する情報提供や資金援助等</p> <p>★ 快適な交通環境づくり</p> <p>通学路における危険箇所の解消や交通量が多い交差点の改良等による安全・安心な道路整備、渋滞解消に向けた公共交通機関を利用した通勤等の通勤行動変容の推進等</p> <p>子育てしやすい住まいづくりの推進</p> <p>県営住宅での子育て世帯向け住戸改善、空き家を子育て世帯向けに改修する市町村への助成等</p> <p>★ 放課後の居場所づくり</p> <p>放課後児童クラブの好事例の横展開、クラブの運営費に対する県補助制度の見直し</p>	<p>★ 金融リテラシー向上</p> <p>若者等を対象とした、金融リテラシー向上のための出前講座、広報啓発</p> <p>★ いじめ・不登校への対応</p> <p>教育支援センターや民間施設などに通うための交通費・体験活動に要する実費の一部支援、いじめ、不登校等様々な課題に対応する私立学校への支援</p> <p>★ インクルーシブ教育システムの構築</p> <p>モデル地域での調査・研究の実施</p> <p>★ スポーツに親しむ環境創出</p> <p>アーバンスポーツイベントや国際バドミントン大会の開催、部活動の地域移行支援</p> <p>★ 魅力ある学校づくり</p> <p>県立高校における地域との協働体制(高校魅力化コンソーシアム)のモデル構築</p>	<p>農林漁業体験の実践事業者数</p> <p>路線バス利用者数</p> <p>高校生等を対象とした消費生活出前講座実施校数</p> <p>不登校を含む児童生徒の校内教育支援センターの利用者数</p> <p>県立学校施設長寿命化プランに基づく県立学校長寿命化改修事業着手校数</p> <p>市町村における放課後子供教室実施の割合</p>
若者の夢が実現できる環境整備	高等教育の修学支援、高等教育の充実就労・創業支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組み 魅力的な地域づくり等 相談体制の充実	<p>★ 若年女性の起業支援</p> <p>自分のライフスタイルに合った起業を志す女性向けの講座や伴走型の支援を実施</p> <p>★ 熊本県内就労・就業応援</p> <p>若者に対するプライト企業等の魅力の周知、職場体験や出前授業等を通じた福祉・介護・医療分野への理解・関心を深める機会の創出、県内に就職する若者の奨学金等を支援</p>	<p>★ 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談支援</p> <p>ひきこもり支援のための電話・来所相談や本人・家族の交流の場づくり及び市町村の後方支援等</p> <p>★ 雇用と経済基盤安定のための取組みへの対応</p> <p>商工団体が実施する価格転嫁の手法を学ぶ講習会開催等を支援、事業者の賃上げ等環境整備に向けた伴走支援を行う商工団体に対する助成</p>	<p>くまもと移住定住・UIターン就職支援センター登録者におけるUIターン就職者数</p> <p>熊本県ひきこもり地域支援センターで対応した相談延べ件数</p>
希望を叶える結婚・妊娠・出産への支援	結婚支援 不妊治療等の支援 出産支援と産後等の支援	<p>★ ライフデザイン支援</p> <p>就職や結婚・子育てを含めた自分の人生を考える機会の提供、若い世代に向けたプレコンセプションケアの普及啓発や相談体制の充実</p> <p>★ 結婚支援等の推進</p> <p>出会いの機会の創出等の事業を行う市町村に対する助成</p> <p>★ 不妊治療の経済的支援の充実</p> <p>補助対象の治療をより経済的負担が大きい生殖補助医療(先進医療)へ見直し</p>	<p>★ 産後ケアの広域体制の整備</p> <p>産後の母子に対する心身のケアや育児サポートを行う体制の確保、県内の広域調整の実施</p> <p>★ 周産期医療体制の充実</p> <p>遠方分娩取扱施設への交通費・宿泊費支援、遠方妊婦健診への交通費支援、関係機関との協議やICTの活用による医療連携体制の構築等</p>	<p>結婚支援に取り組む市町村数</p> <p>女性相談センターでの不妊に関する電話相談・情報提供数</p> <p>産後ケア利用率</p>
あらゆる家庭のニーズに応じた子育て支援	経済的負担への対応 地域や家庭でこどもを育成する安全・安心な環境の構築 安心して働ける職場環境づくり等 ひとり親家庭への支援	<p>★ 子ども医療費や多子世帯の保育料の軽減</p> <p>子ども医療費助成や多子世帯の保育料軽減を行う市町村に対し引き続き助成金を交付</p> <p>★ 家庭教育支援の充実</p> <p>「親の学び」講座の開催など「家庭教育支援員」の地域への配置促進、高校生による放課後子供教室での高校生ボランティア活用による次世代の人材育成等</p> <p>★ 県庁が率先して取り組む子育てしやすい職場環境づくり</p> <p>フレックスタイム制度等の検討や職員のさらなる軽装化の検討等</p>	<p>★ 民間企業が取り組む子育てしやすい職場環境づくりの支援</p> <p>職場環境の改善や短時間・短期間勤務など女性等を中心に従業員の多様な働き方を推進、結婚後・子育て中も安心して働ける職場環境を目指す「よかボス」の普及啓発</p> <p>★ ひとり親家庭への支援</p> <p>ひとり親家庭が抱える様々な課題等を踏まえた生活、子育て、資格取得、就労等の支援やこどもに届く生活・学習支援</p> <p>★ 家族共通の意向を叶える障がい福祉サービスの枠組みづくり</p> <p>障がい当事者家族に対する子育て支援を含めた家族単位の支援の充実</p>	<p>多子世帯子育て支援事業の助成対象児童数</p> <p>各発達段階における「親の学び」講座の実施率</p> <p>プライト企業認定数</p> <p>よかボス企業登録数</p> <p>地域の学習教室の開催箇所数・生徒数・市町村数</p>
特に支援が必要なこどもへの支援	こどもの貧困対策 障がい児支援・医療的ケア児等への支援 児童虐待防止対策、社会的養護の推進、ヤングケアラーへの支援 自殺対策、犯罪などから守る取組み	<p>★ こどもの貧困対策</p> <p>生活保護受給世帯等のこどもの進学支援</p> <p>★ 児童相談体制の強化</p> <p>児童養護施設等における人材確保及び「こども家庭ソーシャルワーカー」の配置促進</p> <p>★ 困難な問題を抱える若年女性等の支援</p> <p>民間団体の強みを生かした困難な問題を抱える若年女性等支援の取組みへの助成</p>	<p>★ 医療的ケア児の支援</p> <p>通学時の看護師同乗、修学旅行への看護師同行</p> <p>★ 通学路の防犯カメラの設置と交通安全対策</p> <p>通学路等への見守りカメラの設置、県警子ども見守り・訪問隊等による登下校時の見守り活動の推進</p>	<p>子どもの学習・生活支援事業の支援人数</p> <p>医療的ケア児等コーディネーターを配置している市町村数</p> <p>県警子ども見守り・訪問隊による見守り活動実施箇所数</p>
施策を推進するために必要な事項	当事者・関係者の意見反映 支援する人の確保・育成・支援 気運醸成 その他の共通の基盤となる取組み 施策の推進体制等	<p>★ 幼児教育や保育に携わる人材の不足への対応</p> <p>離職保育士等の再就職支援、保育士の魅力発信等</p> <p>★ 教職員の働き方改革の更なる推進</p> <p>公立学校における働き方改革支援アドバイザー等の派遣、教員業務支援員の全校配置、教頭マネジメント支援員等の継続配置等</p>	<p>★ 「こどもまんなか熊本」情報発信の強化</p> <p>結婚・子育て応援サイトの全面リニューアルやSNSを活用した広報</p> <p>★ 「こども未来創造会議」による意見聴取等</p> <p>「こども未来創造会議」による意見聴取やくまもと教育プランに関する子供との対話</p>	<p>意見聴取に参加した当事者・関係者の延べ人数</p> <p>保育士再就職支援コーディネーター実績</p>